

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 5 月 23 日 (2013.5.23)

【公開番号】特開 2011-112893 (P2011-112893A)
 【公開日】平成 23 年 6 月 9 日 (2011.6.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-023
 【出願番号】特願 2009-269671 (P2009-269671)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 26/10 1 0 4 Z

G 0 3 B 21/00 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 4 月 15 日 (2013.4.15)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を表示するプロジェクターと、
人がなす複数の列を撮像する撮像部、前記撮像部で撮像された画像から各前記列の人数
を検出する検出部、を有する検知手段と、
前記検知手段により検知された各前記列の前記人数が最小の列を抽出し、前記抽出され
た列に人を誘導する情報を表示するよう前記プロジェクターの駆動を制御する制御手段と
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

画像を表示するプロジェクターの駆動を制御する制御手段であって、
 人がなす複数の列を撮像する撮像部、前記撮像部で撮像された画像から各前記列の人数
 を検出する検出部、を有する検知手段と、
 前記検知手段により検知された各前記列の前記人数が最小の列を抽出し、前記抽出され
 た列に人を誘導する情報を前記画像として表示するよう前記プロジェクターの駆動を制御
 する制御手段とを有することを特徴とする制御装置。

【請求項 3】

画像を表示するプロジェクターの駆動を制御する制御手段であって、
 人がなす複数の列を撮像する撮像部、前記撮像部で撮像された画像から各前記列の長さ
 を検出する検出部、を有する検知手段と、
 前記検知手段により検知された各前記列の前記長さが最短の列を抽出し、前記抽出され
 た列に人を誘導する情報を前記画像として表示するよう前記プロジェクターの駆動を制御
 する制御手段とを有することを特徴とする制御装置。

【請求項 4】

前記検出部は、前記列の前記長さとして、前記列の先頭の人の頭と最後尾の人の頭との
 距離を検出する請求項 3 に記載の制御装置。

【請求項 5】

前記プロジェクターは、各前記列に対応して配置されている請求項 2 ないし 4 のいずれ
 かに記載の制御装置。

【請求項 6】

前記プロジェクターは、前記複数の列に対し1つ配置されている請求項2ないし4のいずれかに記載の制御装置。

【請求項 7】

前記プロジェクターは、光を出射する光出射部と、前記光出射部から出射した光を互いに直交する第1の方向および第2の方向にそれぞれ走査させる光走査部とを有する請求項2ないし6のいずれかに記載の制御装置。

【請求項 8】

前記光走査部は、前記光出射部から出射した光を反射させる光反射部を備えた可動板が一軸または互いに直交する二軸に回動可能に設けられ、前記回動によって前記光反射部で反射した光を前記表示面に走査する光スキャナーを有し、前記可動板の前記回動における振幅の中心位置を変更することにより、表示する画像全体の位置を変更する請求項7に記載の制御装置。

【請求項 9】

前記光走査部は、前記振幅の中心位置を変更することにより、前記画像が表示される表示面に互いに位置が異なる複数の画像を表示し、

前記複数の画像は、順に繰り返して表示される請求項8に記載の制御装置。